

### 目 次

	頁
1. [巻頭言] 役員の任期を終える今、思うこと . . . . . 森川 京子	2
2. 2008年度会長・理事選挙結果報告 . . . . . 長岡 功	3
3. 日本音楽表現学会第6回大会発表募集 . . . . .	4
ニックネーム募集 . . . . .	5
参加のお誘い . . . . .	5
4. 『音楽表現学』vol.6原稿募集 . . . . .	6
5. 新入会員紹介 . . . . .	6
6. 所属等変更 . . . . .	7
7. 会員によるコンサート案内 . . . . .	7
8. 大学教員の公募 . . . . .	8
9. 事務局からの重要なお知らせ—事務局の移動について— . . . . .	9
10. 事務局からの重要なお問い合わせ1—連絡先・所属変更について . . . . .	9
11. 事務局からの重要なお問い合わせ2—学会費納入について . . . . .	9
12. 学会からのお知らせ . . . . .	10
13. 「コンサート等後援願」書式 . . . . .	11
14. 「入会申込書」書式 . . . . .	11
15. 役員名簿 . . . . .	12
16. 編集後記 . . . . .	12

日本音楽表現学会事務局

〒700-8530 岡山市津島中3-1-1 岡山大学教育学部 奥研究室気付

Tel. & Fax. 086-251-7647 E-mail: s-oku@cc.okayama-u.ac.jp

<http://www.ipc.shizuoka.ac.jp/~eeakita/kitayama/OHG-index.htm>



年会費の振り込み→郵便振込口座：01370=6=78225 音楽表現学会

日本音楽表現学会理事 森川 京子（ヴァイオリン）

今年の冬は格別の寒さ、凍てつくような早朝、太陽の温かさと優しさをつくづく実感しました。良いニュースの伝わってこない今の世の中、この太陽のようなものが芸術かも知れませんね。やっと美しい花々の咲き乱れる春が訪れ、会員の皆様もほっとなさっていることと存じます。

我々の「日本音楽表現学会」も発足以来5年、会員数も200名を超えるという、自他共に認める立派な学会に発展したことを心よりうれしく思っております。これもひとえに会員の一人ひとりの努力の賜物だと思います。

この5年を振り返ってみて、学会の活動が音楽に携わる者に多々の影響を与えたことはもちろんですが、特筆すべきは今まで演奏家の表現の場がステージのみであったことから、言葉で表現できる場所を得られたことだと思います。演奏するとき、楽曲について「知」「情」、また、聴衆からの反応など深く勉強します。しかし、漠然としたものでなく、それらを語ることの必要性をこの学会で知ったことは演奏家にとって大きな収穫だったと思います。研究分野を異にする会員一人ひとりが相互に影響を与え合うことのできる、こんな魅力のある学会に成長しつつあることを頼もしく感じております。せっかくの「音楽表現学会」、さらに多くの演奏家の参加を切に希望しています。

今年は役員改選の年です。会長の中村隆夫さん、理事の安藤政輝さん、そして私、森川京子の3名が発足して以来2期余にわたる任期を終えることになりました。これまでのご指導・ご協力に心から感謝を申し上げます。この3月に投票が行われた選挙結果は、このニューズレターで報告されると思いますが、次期会長に奥忍さん、理事に権藤敦子さん、佐々木正利さん、谷口雄資さん、土門裕之さん、安田香織さん、柳井修さんが選ばれ就任の予定です。ますますすばらしい学会に発足することを願い、陰ながら協力をさせていただこうと考えております。

最後に一つお願いです。学会をこれまで以上に良いものにしていくためにも、学会費の納入をお願い致します。うっかり忘れていらっしゃるのだらうと思います。最近では郵便局まで出かけなくてもコンビニから簡単に振り込むことができます。よろしくお願い申し上げます。

長い間本当にありがとうございました。御礼申し上げます。



# 2008年度会長・理事選挙の報告

選挙管理委員会

委員長 長岡 功

選挙管理委員会では予定通り3月31日に開票作業を行い以下のような選挙結果を会長に報告致しました。

日本音楽表現学会  
中村 隆夫 会長殿

H20.3.31

2007年度選挙管理委員会

委員長：長岡 功

## 2008-9年度会長・理事選挙開票結果

選挙管理委員会より本選挙の結果について報告いたします。

- ・投票総数 109票
- ・有効票 102票
- ・無効票 7票  
(内訳：投票期間外投票 3通、返信用封筒への氏名無記入等 4票)

### ・開票結果

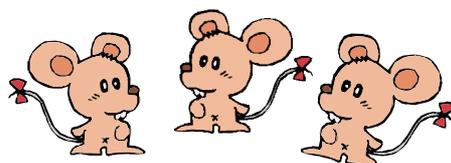
会長	奥 忍	100票
	白票	2票

理事	権藤 敦子	97票
	安田 香	97票
	柳井 修	97票
	佐々木正利	95票
	谷口 雄資	95票
	土門 裕之	95票
	白票	2票

- ・上記の結果に相違ないことを報告いたします。

2007年度選挙管理委員

長岡 功、早川 倫子、大山佐知子





## 第6回大会発表募集



2008年6月14日（土）－15日（日）@昭和音楽大学 新百合ヶ丘南校舎  
（新宿駅から小田急線21分「新百合ヶ丘」駅前）

この機会に、これまでの研究をまとめて是非発表してください。音・音楽を豊富に用いて、口頭発表の良さを生かしてください。音楽表現学会ならではの発表をお待ちします。

申込方法：以下の申込書の項目を記してメール、またはファックスで事務局へ送付してください。

送付先：s-oku@mbox.kyoto-inet.or.jp, s-oku@cc.okayama-u.ac.jp

Fax. 075-465-5068

締切日：4月30日（水）

申込書：様式は以下のとおりです。

第6回日本音楽表現学会大会（名称未定）に発表を申し込みます。

氏名：

発表題目：

発表形態：（90分の時間帯に研究発表は2本、他は1本。参考までに標準時間を記します。）

- a.研究発表（30分発表＋10分質疑）
- b.共同研究（75分発表＋10分質疑）
- c.ワークショップ（75分活動＋10分質疑）
- d.パネルディスカッション（60分パネル＋25分フロアとの議論）

使用予定機器：

所属あるいは居住都道府県名：

連絡先 Tel.、Fax、E-mail：

その他の連絡事項：

なお、発表申込者には5月14日（水）までに23字×34行×2段程度の『大会要項』用原稿をお送り頂きますようお願いいたします。





## 第6回大会ニックネーム募集

第6回大会には名付け親になってみませんか。

これまでの大会には以下のような愛称が付けられてきました。

設立大会→ライラック大会→アクア・ブルー大会→グリーン・アベニュー大会→火の国大会→?????

大会ニックネームが『大会要項』のカラーになります。

是非あなたのアイデアをご応募ください。



## 第6回大会参加のお誘い

発表される方もされない方も、みなさまお誘い合わせご参加ください。

期日：2008年6月14日（土）－15日（日）

会場：昭和音楽大学 新百合ヶ丘南校舎（新宿駅から小田急線21分「新百合ヶ丘」駅前）

内容：基調講演 演出家 本山節彌氏

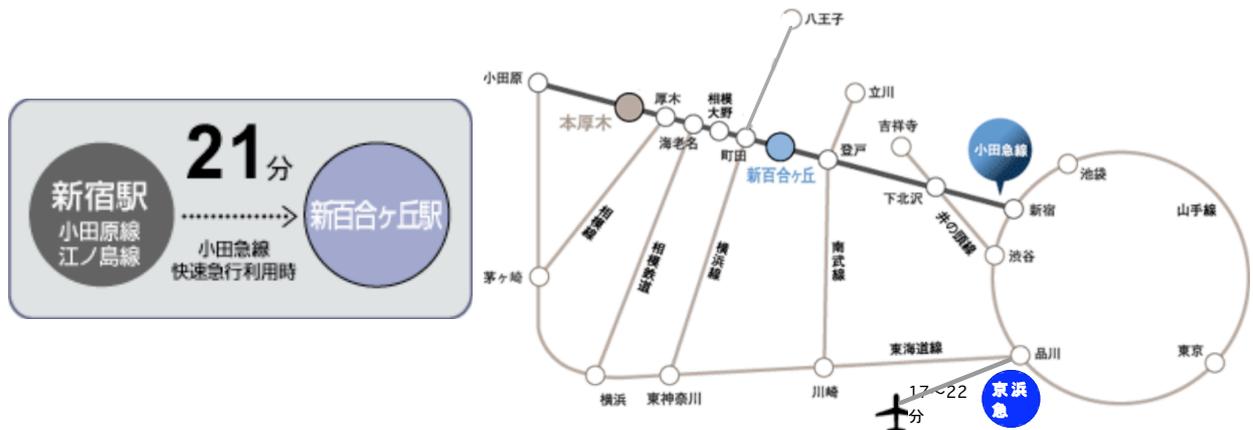
テーマ 『大きな木』を若者とともに見つめて—高校生演劇センスと音楽性—  
会員による研究発表、ワークショップ、共同研究、パネル・ディスカッション等

今回は、昭和音楽大学のご協力を得てシンポジウムの代わりにコンサートを開きます。

プログラムは未定ですが、ご期待ください。

参加申込：参加申し込みの書式は、昭和音楽大学実行委員会と詳細を詰めた後  
メールとHPでお知らせします。

学会員以外の方にもお誘いの声をかけてください。





## 『音楽表現学』 Vol.6 原稿募集



『音楽表現学』Vol.6の原稿締切は5月31日（土）です。原稿には原著論文、評論論文、研究報告、寄書、解説、その他の種別があります。投稿をお考えの方は、手続き、様式について『音楽表現学』Vol.5巻末の「投稿規定」および学会ホームページ（下記）をご精読ください。みなさまのご投稿をお待ちしています。

<http://www.ipc.shizuoka.ac.jp/~eeakita/kitayama/toukokuitei.htm>



## 新入会員紹介

2007年11月1日～2008年3月31日の間に、狭間由香さん、花田三幸さん、鷺尾惟子さん、上山典子さん、石場惇史さんの5名が入会されました。2007-No.1、No.2でご紹介できなかった会員も含めて今回原稿が間に合わなかった新入会員は次号に掲載しますので原稿をお送りください。

はざま ゆか  
狭間由香さん

ピアニスト／鍵盤ハーモニカ奏者。音大卒業以来、ピアニストとして地元・松本市を拠点に演奏活動をしてまいりました。2006年、鍵盤ハーモニカによるクラシックアルバム「CD くまんばちの飛行」をリリースしてからは各メディアからの評価も得、鍵盤ハーモニカ奏者としても、あちこちに活動の場が広がりました。鍵盤ハーモニカは教材楽器としての印象が強く、又、子ども達には人気のない楽器というのが現実ですが、実は表現力のある魅力的な楽器です。この身近な楽器で、音楽が子ども達にとって、より楽しく日常的なものになればと願いながら、只今、ピアニストと鍵ハモニスト(?)の二足のワラジをはいています。

はなだ・みゆき  
花田三幸さん

上越教育大学大学院 学校教育研究科 教科・領域教育専攻 芸術系音楽分野 二年次に在籍中。学部の頃は音環境を中心に取り組んでいました。実技は作曲で、混声合唱曲を中心に制作。現在は歌の領域で研究をしています。音楽表現学会では、幅広く表現の素晴らしさや多様性を吸収していきたいと考えています。

きむら ひろこ  
鷺尾 惟子さん

奈良で音楽教室とピアノ行っております。96年、中国新疆ウイグル人の音楽を紹介する活動を開始しました。また、ウイグル音楽を研究として位置づけたいと思い、05年奈良女子大学大学院へ社会人入学し、現在博士課程にて研究を続けております。貴学会で様々な方と有意義な交流がとれますこと、楽しみに致しております。

いしば あつし  
石場 惇史さん

私はプロデューサーとして私が選んだ職業アーティストと共に、授業の一環として催される学校の芸術鑑賞会のステージに立っています。年間200ステージをこなしていますが、私が表現したいことを子供がどこまで受け止めてくれているか、どこまで伝えられるか毎回反省の日々です。より充実したステージを創るため、生で聴かせる音楽を通して表現すべき内容、表現できる可能性またその方法等について勉強させていただけることをとても期待しております。

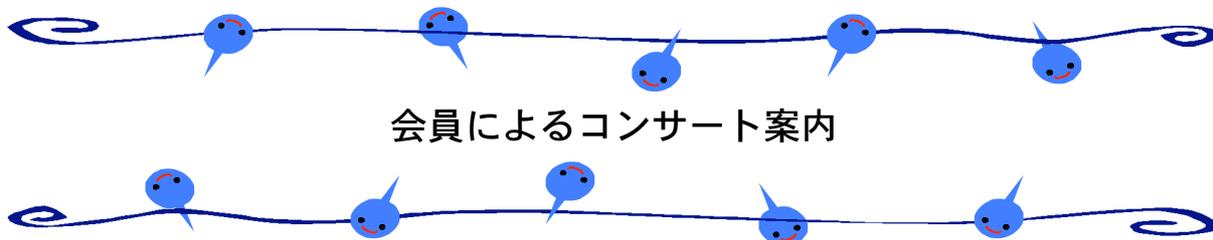


## 所属等変更

内田陽一郎 さん 所 属：エリザベト音楽大学・同大学院非常勤講師→広島市立大学国際学部非常勤講師

奥 忍 さん 所 属：岡山大学教育学部→京都嵯峨芸術大学大学院芸術研究科院生  
(個人情報は削除しました。)

木許 隆 さん 所 属：中京短期大学→埼玉純真短期大学  
(個人情報は削除しました。)



## 会員によるコンサート案内

こどもとおとなへの音楽の贈り物

バルトーク・ベーラ作曲『児童と女声のための合唱曲集』全曲演奏会

(サボー・ミクローシュによる新訂版)

プログラム：講演：ウグリン・ガーボル (元ハンガリー国立合唱団常任指揮者  
(通訳：降矢美彌子) ・リスト音楽芸術大学教授)

指揮：ウグリン・ガーボル

合唱：福島コダーイ合唱団

福島公演：日 時：8月11日(月) 19:00開演

会 場：福島市音楽堂大ホール

入場料：一般2,500円(当日500円増)

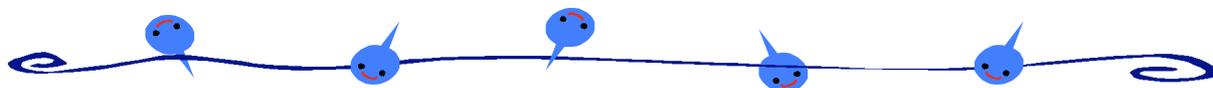
東京公演：日 時：8月12日(月) 19:00開演

会 場：トッパンホール

入場料：一般3,500円(当日500円増)

お問い合わせ：橋 浩昭 Tel/Fax 029-852-6457 (夜間)

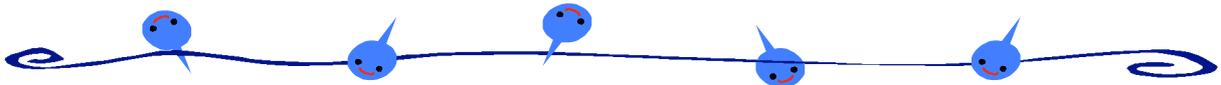
E-mail: yoh\_tachi@mac.com



## 深井尚子ピアノリサイタル

2008年10月11日(土) 14:00開演 北海道立釧路芸術館 アートホール 入場料 2500円  
2008年11月 2日(日) 14:00開演 東京銀座、王子ホール 入場料 4000円

プログラム：バッハ：パルティータ第2番  
モーツァルト：幻想曲ハ短調 ソナタ ハ短調  
ベートーヴェン：ソナタ 作品57 熱情 他



### 大学教員の公募



愛知教育大学 教育学部（創造科学系音楽教育講座）

職 種：准教授または講師

専門分野：ピアノ・音楽教育

締 切：6月4日

\*その他の用件などは本学ホームページでご確認ください。

[http://www.aichi-edu.ac.jp/visiter/saiyou\\_index.html](http://www.aichi-edu.ac.jp/visiter/saiyou_index.html)

(注意) この件に関するお問い合わせは、必ず本学人事課宛にお願いします。

愛知教育大学 総務部人事課任用係 電話0566-26-2124





## 事務局から重要なお知らせ—事務局の移動について—

事務局担当の奥忍の退職にともない、事務局の所在について問い合わせが届いています。次期役員体制が6月の総会で決定されます。混乱を避けるためそれまでの間はこれまで通りで対応できるよう、送付物とメールに関しては転送手続きをしています。しかし、以下にご連絡頂ければ直接になり、より早く対応できるかもわかりません。

事務局連絡（仮） 〒616-8025 京都市右京区花園土堂町1-6  
Tel. 075-462-1388、Fax. 075-465-5068  
E-mail: s-oku@mbox.kyoto-inet.or.jp



## 事務局から重要なお知らせ1—連絡先・所属変更について—

ニュースレターや『大会要項』が宛先不明で返送されてくるケースがあります。連絡先・所属変更については学会事務局まで必ずお知らせいただくようお願いいたします。

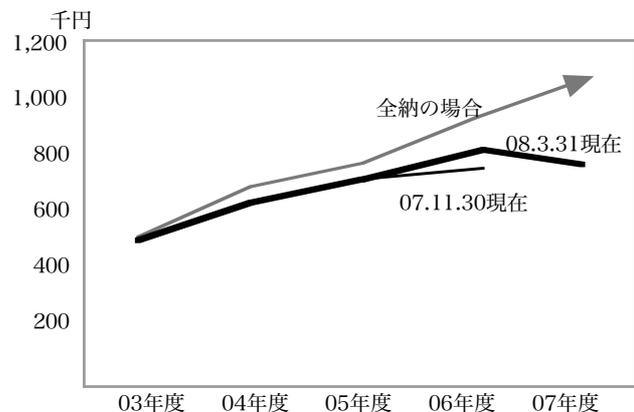
E-mailアドレス：4月7日（月）に事務局から会員宛メールを送信しています。また、このニュースレター発送と同時に2008年度に入会された方も含めて会員宛メールを送信しています。届かなかった方はアドレスが不明になっていますので、学会事務局まで必ずお知らせください。



## 事務局から重要なお知らせ2—年会費納入について—

年会費の納入については会員のみなさまのご協力をありがとうございました。これまでの

複数年度分を一度に納めて頂いた方、今後の数年分をまとめて納めて頂いた方などでかなり回復しています。しかし、2007年度分で見ると、右図から見られるように全納にはかなりの道のりがあります。学会はみなさまの年会費で運営されています。同封の払込振替票を用いての送金をお待ちしています。





## 学会からのお知らせ



### ニュースレターへの投稿

ニュースレターは会員の交流の場です。音楽表現に関するご意見、掲載記事に関するご意見などを掲載します。今回は選挙特集のために残念ながら会員の投稿を掲載するスペースがありませんでした。しかし、巻頭言にもありますように、今後の発展に関してご意見を是非お寄せください。テーマはその他何に関してでも自由ですので、みなさまの投稿をお待ちします。

- ・研究ノート、随想など：全頁で23字×35行×2段で1600字以内でお願いします。
- ・新入会員の紹介：字数は150字以内。最近の関心事、研究に関することなどご自由にお書きください。なお、「よろしく申し上げます」などの常套句は削除します。
- ・会員によるコンサート案内：タイトル、日時、会場、入場料、（出演者）、曲目、連絡先をお知らせください。企画等で趣旨が必要な場合には80字以内でお願いします。
- ・原稿はwordを用い、メールの添付書類でお願いします。受付は随時、送り先は学会事務局です。

### 学会の会員サポート制度をご活用ください

- ★ 研究発表の場の一つが機関誌『音楽表現学』です。本学会は「日本学術団体」の広報協力団体です。『音楽表現学』に論文が掲載されると、大学などでは「査読付学術論文」としての評価を受けます。年度末などに業績の報告をされる際には、その旨をお記し下さい。
- ★ 大会の口頭発表は、日本音楽表現学会ならではの表現力を駆使して、文字だけでは伝えられない音声を用い、これまでの研究を発信できる場、それを参加者一同が共有できる場です。会員自身の音楽表現の創意や工夫、実践を披露し、その妥当性を問うワークショップなど、日本音楽表現学会ならではの生の音楽表現を含めた発表の機会をご利用下さい。
- ★ ニュースレター「コンサートのご案内」では、会員による各種の演奏、ワークショップ、イベントなどの活動紹介を行います。これらの活動を学会は「後援」します。みなさまの活動をニュースレター最終頁の「後援願」の様式で、どしどしお寄せ下さい。
- ★ 「新刊案内」では、会員による刊行物の紹介を行います。上梓されたらお知らせください。
- ★ その他、所属されている他学会の情報などもお寄せ下さい。

(様式)

コンサート等後援願  
日本音楽表現学会の後援をお願いします。

氏 名： \_\_\_\_\_  
所 属： \_\_\_\_\_  
コンサート等の名称： \_\_\_\_\_  
コンサート等の趣旨： \_\_\_\_\_  
主な内容： \_\_\_\_\_  
期 日： \_\_\_\_\_  
会 場： \_\_\_\_\_  
連 絡 先： \_\_\_\_\_

(様式)

日本音楽表現学会入会申込書  
日本音楽表現学会に入会を申し込みます。

氏 名： \_\_\_\_\_  
専門分野： \_\_\_\_\_  
住 所： \_\_\_\_\_  
所 属： \_\_\_\_\_  
連絡先： \_\_\_\_\_  
連絡先電話番号： \_\_\_\_\_  
連絡先Fax.番号： \_\_\_\_\_  
e-mail アドレス： \_\_\_\_\_  
推薦者名 (学会員・1名) \_\_\_\_\_  
音楽表現学会に期待されること。ご意見等：  
\_\_\_\_\_

ニュースレターの「新入会員のご紹介」欄のための原稿執筆のお願い

日本音楽表現学会ではニュースレターで新入会員の紹介を自己紹介の形式で行っています。申し込みと同時に原稿を送っていただくと、連絡や編集作業が順調に進むように思われます。ご協力をよろしくお願いいたします。

1) 自己紹介の内容：以下の項目の中から適宜選択して、文章にしてください。

なお、「よろしく申し上げます」などのご挨拶用言は省きますので、あしからずご了承下さい。

- ・所属
- ・専門
- ・音楽表現について思うこと
- ・この頃思うこと
- ・モットー
- ・夢
- ・ホームページアドレス、等々

2) 字数：150字を超えない程度でお願いします。

3) ㄨ切：入会申込書と同時にご提出ください。

4) 送付方法：メールの本文またはワードの添付。メールをお使いにならない方は郵送でお願いします。

5) 宛先：s-oku@mbox.kyoto-inet.or.jp

## 日本音楽表現学会 役員

会 長：中村 隆夫  
副 会 長：安藤 政輝  
          奥 忍  
理 事：川口 容子  
          権藤 敦子  
          佐々木正利  
          森川 京子  
会 計 監 事：若井 健司  
          加藤 晴子  
編集委員長：杉江 淑子  
同副委員長：小西 潤子  
同 委 員：後藤 丹  
          小畑 郁男  
          佐野 仁美  
          谷口 雄資

## 編 集 後 記

2007年秋から、退職に関わるさまざまな作業で学会事務が滞りがちでした。申し訳ありません。実際、退職は予想以上に大変でした。最後の1年間は大学運営にほとんど参加していなかったにもかかわらずです。。まず、これまで多忙な仕事のために長い間先送りしてきた研究の総括に第1優先順位をつけました。しかし、卒論、修論、博論などの学生指導はもっと優先せざるを得なく、しかも提出期限付きです。様々な会計業務も日限を限って完遂しなければなりません。その上、私的な生活に関わる共済組合や生命保険などの手続きもありました。という具合で、ほとんど「助けて!!!」状態でした。来週に引越しが終われば、通常の生活が始まることを祈りつつ、もう一がんばりです。「通常の生活」については、また機会のあるときに書かせてください。

(奥 忍)

以下削除 なぜだか最終頁が入りません。